

掛布まち子議員の水道事業補正予算への反対討論

議案第 85 号 令和 6 年度江南市水道事業会計補正予算第 2 号について、日本共産党議員団を代表し、反対の立場で討論を行います。

この補正予算の、水道料金等取扱業務委託事業の 378 万 2 千円の増額は、令和 7 年 4 月から水道料金を平均 9.4%値上げするための、料金システム改修のための予算となっています。

料金の値上げ条例が可決された、先の 9 月議会の討論で述べたとおり、水道料金は 5 年前にも 18%の大幅な値上げをしたばかりです。さらなる値上げで、世帯全体の 76.5%を占める口径 13 ミリ家庭の料金は、近隣自治体でいばんの高額になってしまいます。

基本料金の割合を増やす改定のため、使う水の量が少ない単身世帯ほど値上げ率が大きく、もっとも痛手を被るにもかかわらず、低所得世帯への減免もありません。

江南市水道事業は、2023 年度末の内部留保資金が 13 億円余もある健全経営です。わざわざ物価高騰が続いて市民から悲鳴があがる、その最中に値上げする必要はありません。命の水を安価に供給すべき水道は、福祉目的の事業のはず。一般会計からの出資金で安く抑えるべきです。

ちょうど、政府が地方自治体に、長引く物価高騰から暮らしを守る施策に活用するための、地方創生臨時交付金を増額交付することになっています。

過去にも江南市水道事業は、コロナ対応や物価高騰対応の臨時交付金を活用して、水道料金の減額を行って市民生活を応援してきました。今回もこの交付金を活用して、水道料金の減額を行うことになると思います。」そうならば、料金システムの改修がまた必要になります。

交付金を活用して料金の減額をし、料金システムの改修をしつつ、同時期に、わざわざ値上げをするためのシステム改修を行うというのでは、あまりにもやる事が矛盾に満ちているのではないのでしょうか。

議案第 85 号は、物価高騰下の水道料金値上げのための、システム改修予算補正である事を指摘して、この議案に反対をいたします。